

注3

大学番号：公009

[平成31年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

富山県立大学 看護学部 看護学科

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人富山県立大学  
令和元年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 富山キャンパス事務部 管理課

職名・氏名 シュジ シマダ カホ  
主事 島田 果歩

電話番号 076-464-5410 (内121)

(夜間) 076-464-5410 (内121)

F A X 076-422-6070

e-mail k-shimada@pu-toyama.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について  
(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 看護学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	11
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	33

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

公立大学法人富山県立大学

## (2) 大学名

富山県立大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒930-0975 (939-0398)  
富山県富山市西長江2丁目2番78号 (富山県射水市黒河5180番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シブタニ カツヒト) 渋谷 克人 (平成31年4月)		
学長	(シモヤマ イサオ) 下山 勲 (平成31年4月)		
学部長	(タケウチ トミコ) 竹内 登美子 (平成31年4月)		
学科長	(オカモト エリ) 岡本 恵里 (平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係(看護学関係)	4年	120人	— 年次人	480人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	120人 ( — ) [ — ]	—人 ( — ) [ — ]	—人 ( — ) [ — ]	—人 ( — ) [ — ]	—人 ( — ) [ — ]	—人 ( — ) [ — ]	—人 ( — ) [ — ]	—人 ( — ) [ — ]	1.02倍	—倍	
志願者数	798 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]			
受験者数	585 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]			
合格者数	132 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]			
B 入学者数	123 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]			
入学定員超過率 B/A	1.02										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	123 [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )		
2年次	/		— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )		
3年次			/		— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	
4年次					/		— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )
計			123 [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )			— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	123 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	該当なし
令和2年度	— 人	— 人	令和元年度	— 人	— 人	—
			令和2年度	— 人	— 人	—
令和3年度	— 人	— 人	令和元年度	— 人	— 人	—
			令和2年度	— 人	— 人	—
			令和3年度	— 人	— 人	—
令和4年度	— 人	— 人	令和元年度	— 人	— 人	—
			令和2年度	— 人	— 人	—
			令和3年度	— 人	— 人	—
			令和4年度	— 人	— 人	—
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{123} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。







(1) -②授業科目表に関する変更内容

**【令和元年度】**

・「芸術学Ⅰ」「芸術学Ⅱ」を担当する教員の退職に伴い科目を廃止することとなったため、当該科目に相当する科目「比較文化学Ⅰ」「比較文化学Ⅱ」を新設し、教育内容の維持・充実を図った。

- (注) ・ 2(1)-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
84 科目	43 科目	0 科目	127 科目	科目 [ ]	科目 [ ]	科目 [ ]	科目 [ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{127} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	・平成31～33年度は、富山キャンパスを富山県立総合衛生学院（収容定員/H31:240人、H32:140人、H33:40人、富山県の面積基準なし）と共用 ・富山キャンパスの土地（11,858㎡）及び建物（14,495㎡）については、県からの無償貸与（3年毎の自動更新）			
	校舎敷地	120,135㎡	— ㎡	— ㎡	120,135㎡				
	運動場用地	44,450㎡	— ㎡	— ㎡	44,450㎡				
	小 計	164,585㎡	— ㎡	— ㎡	164,585㎡				
	そ の 他	45,285㎡	— ㎡	— ㎡	45,285㎡				
	合 計	209,870㎡	— ㎡	— ㎡	209,870㎡				
(2) 校舎	専 用	66,799㎡	— ㎡	— ㎡	66,799㎡				
	(66,799㎡)	( — ㎡)	( — ㎡)	(66,799㎡)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	11室	12室	7室	1室 (補助職員一人)	— 室 (補助職員一人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	看護学部 看護学科			72 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	工学部と共用（図書169,531冊、学術雑誌5,975種、視聴覚資料858点）	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕						〔うち外国書〕
	看護学部	16,412 [ 133 ]	133 [ 14 ]	5 [ 0 ]	678	12,507	47		
		(13,511 [ 49 ])	( 0 [ 0 ])	( 0 [ 0 ])	(4)	(10,202)	(20)		
	計	16,412 [ 133 ]	133 [ 14 ]	5 [ 0 ]	678	12,507	47		
		(13,511 [ 49 ])	( 0 [ 14 ])	( 0 [ 0 ])	(4)	(10,202)	(20)		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			大学全体	
	3,457㎡		327席		21.7万冊				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,772㎡		フィットネスルーム 392㎡ ( 兼 講 堂 ) テニスコート 3 面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には、電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む。）を含む。
		教員1人当り研究費等	388千円	388千円	図書購入費	24,536千円	23,991千円	23,991千円	
		共同研究費等	19,788千円	19,788千円	設備購入費	502,965千円	27,953千円	50,224千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		県内 724千円 県外 818千円	536千円	536千円	536千円	—千円	—千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		受託研究費等のほか富山県の一般財源を充てる。						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称		富山県立大学								備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度		
工学部	4	330	-	1,240		1.05	-	平成2	-	
機械システム工学科	4	60	-	240	学士(工学)	1.06	-	平成2	富山県射水市黒河5180番地	平成28年度入学定員増(10名)
知能ロボット工学科	4	60	-	240	学士(工学)	1.04	-	平成18	同上	平成28年度入学定員増(10名)
電子・情報工学科	4	80	-	290	学士(工学)	1.07	-	平成18	同上	平成29年度入学定員増(30名)
環境・社会基盤工学科	4	55	-	205	学士(工学)	1.03	-	平成21	同上	平成29年度入学定員増(15名)
生物工学科	4	40	-	160	学士(工学)	1.08	-	平成18	同上	
医薬品工学科	4	35	-	105	学士(工学)	1.05	-	平成29	同上	
看護学部	4	120	-	120		1.02	-	平成31	-	
看護学科	4	120	-	120	学士(看護学)	1.02	-	平成31	富山県富山市西長江2丁目2番70号	
大学全体	4	450	-	1,360	-	1.03	-	-	-	
大学 の 名 称		富山県立大学大学院								備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
工学研究科				156		0.96	-			
博士前期課程										
機械システム工学専攻	2	17	-	34	修士(工学)	0.94	-	平成6	富山県射水市黒河5180番地	
知能デザイン工学専攻	2	17	-	34	修士(工学)	0.94	-	平成18	同上	
情報システム工学専攻	2	17	-	34	修士(工学)	1.11	-	平成18	同上	
環境工学専攻	2	12	-	24	修士(工学)	0.7	-	平成25	同上	
生物工学専攻	2	15	-	30	修士(工学)	1.06	-	平成8	同上	
工学研究科				54		0.53				
博士後期課程										
機械システム工学専攻	3	4	-	12	博士(工学)	0.33	-	平成8	富山県射水市黒河5180番地	
知能デザイン工学専攻	3	4	-	12	博士(工学)	0.66	-	平成18	同上	
情報システム工学専攻	3	4	-	12	博士(工学)	0.16	-	平成18	同上	
環境工学専攻	3	2	-	6	博士(工学)	0.83	-	平成27	同上	
生物工学専攻	3	4	-	12	博士(工学)	0.83	-	平成10	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。  
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	竹内 登美子 <平成31年4月> 博士(教育学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 老年看護学概論※ 老年看護学方法論※ 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	教授	岡本 恵里 <平成31年4月> 修士(カウンセリング)
		看護ケアと工学※ トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 看護学概論※ 基本看護技術※ 生活援助看護技術※ フィジカルアセスメント※ 看護過程論※ 診療援助看護技術※ 看護倫理学 看護教育学 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	教授	松井 弘美 <平成31年4月> 博士(保健学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 母性看護学概論※ 母性看護学方法論※ 母性看護学演習 母性看護学実習 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※
専	教授	森子 嘉美 <平成31年4月> 博士(医学)
		先端医療論※ トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 成人看護学概論※ 成人看護学方法論Ⅰ(急性・回復)※ 成人看護学演習Ⅰ(急性・回復) 成人看護学実習Ⅰ(急性・回復) 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	竹内 登美子 <平成31年4月> 博士(教育学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 老年看護学概論※ 老年看護学方法論※ 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	教授	岡本 恵里 <平成31年4月> 博士(教育学)
		看護ケアと工学※ トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 看護学概論※ 基本看護技術※ 生活援助看護技術※ フィジカルアセスメント※ 看護過程論※ 診療援助看護技術※ 看護倫理学 看護教育学 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	教授	松井 弘美 <平成31年4月> 博士(保健学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 母性看護学概論※ 母性看護学方法論※ 母性看護学演習 母性看護学実習 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※
専	教授	森子 嘉美 <平成31年4月> 博士(医学)
		先端医療論※ トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 成人看護学概論※ 成人看護学方法論Ⅰ(急性・回復)※ 成人看護学演習Ⅰ(急性・回復) 成人看護学実習Ⅰ(急性・回復) 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	片田 裕子 <平成31年4月> 博士(保健学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 成人看護学概論※ 成人看護方法論Ⅱ(慢性)※ 成人看護方法論Ⅲ(緩和)※ 成人看護学演習Ⅱ(慢性・緩和) 成人看護学実習Ⅱ(慢性・緩和) 糖尿病看護論※ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	教授	田中 いずみ <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 精神看護学概論 精神看護方法論※ 精神看護学演習 精神看護学実習 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	教授	越田 美穂子 <平成31年4月> 博士(保健学)
		地域ケアシステム論 トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 地域看護学概論※ 地域看護方法論※ 地域看護学演習 地域看護学実習 多職種連携論※ 看護学研究Ⅰ※ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	准教授	林 静子 <平成31年4月> 博士(看護学)
		看護ケアと工学※ トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 看護学概論※ 基本看護技術※ 生活援助看護技術※ フィジカルアセスメント※ 看護過程論※ 診療援助看護技術※ 看護管理学※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	片田 裕子 <平成31年4月> 博士(保健学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 成人看護学概論※ 成人看護方法論Ⅱ(慢性)※ 成人看護方法論Ⅲ(緩和)※ 成人看護学演習Ⅱ(慢性・緩和) 成人看護学実習Ⅱ(慢性・緩和) 糖尿病看護論※ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	教授	田中 いずみ <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 精神看護学概論 精神看護方法論※ 精神看護学演習 精神看護学実習 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	教授	越田 美穂子 <平成31年4月> 博士(保健学)
		地域ケアシステム論 トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 地域看護学概論※ 地域看護方法論※ 地域看護学演習 地域看護学実習 多職種連携論※ 看護学研究Ⅰ※ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	准教授	林 静子 <平成31年4月> 博士(看護学)
		看護ケアと工学※ トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 看護学概論※ 基本看護技術※ 生活援助看護技術※ フィジカルアセスメント※ 看護過程論※ 診療援助看護技術※ 看護管理学※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	三善 郁代 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 基本看護技術※ 生活援助看護技術※ フィジカルアセスメント※ 看護過程論※ 診療援助看護技術※ 看護管理学※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	准教授	川崎 久子 <平成31年4月> 修士(保健学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 基本看護技術※ 生活援助看護技術※ フィジカルアセスメント※ 看護過程論※ 診療援助看護技術※ 看護管理学※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	准教授	工藤 里香 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 母性看護学概論※ 母性看護学方法論※ 母性看護学演習 母性看護学実習 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※
専	准教授	城戸口 親史 <平成32年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 成人看護学方法論Ⅰ(急性・回復)※ 成人看護学演習Ⅰ(急性・回復) 成人看護学実習Ⅰ(急性・回復) 災害看護学 救命救急看護学 感染看護学 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	三善 郁代 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 基本看護技術※ 生活援助看護技術※ フィジカルアセスメント※ 看護過程論※ 診療援助看護技術※ 看護管理学※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	准教授	川崎 久子 <平成31年4月> 修士(保健学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 基本看護技術※ 生活援助看護技術※ フィジカルアセスメント※ 看護過程論※ 診療援助看護技術※ 看護管理学※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	准教授	工藤 里香 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 母性看護学概論※ 母性看護学方法論※ 母性看護学演習 母性看護学実習 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※
専	准教授	城戸口 親史 <令和2年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 成人看護学方法論Ⅰ(急性・回復)※ 成人看護学演習Ⅰ(急性・回復) 成人看護学実習Ⅰ(急性・回復) 災害看護学 救命救急看護学 感染看護学 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	比嘉 尚江 <平成31年4月> 博士(人間文化学)	専	准教授	比嘉 尚江 <平成31年4月> 博士(人間文化学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 成人看護方法論Ⅱ(慢性)※ 成人看護方法論Ⅲ(緩和)※ 成人看護学演習Ⅱ(慢性・緩和) 成人看護学実習Ⅱ(慢性・緩和) 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※			トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 成人看護方法論Ⅱ(慢性)※ 成人看護方法論Ⅲ(緩和)※ 成人看護学演習Ⅱ(慢性・緩和) 成人看護学実習Ⅱ(慢性・緩和) 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	准教授	木谷 尚美 <平成32年4月> 修士(看護学)	専	准教授	木谷 尚美 <令和2年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 老年看護学概論※ 老年看護方法論※ 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 認知症看護論※ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※			トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 老年看護学概論※ 老年看護方法論※ 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 認知症看護論※ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	准教授	河野 由美子 <平成31年4月> 修士(看護学)	専	准教授	河野 由美子 <平成31年4月> 博士(学術)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 在宅看護学概論 在宅看護方法論※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※			トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 在宅看護学概論 在宅看護方法論※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	准教授	堀井 聡子 <平成32年4月> 博士(看護学)	専	准教授	堀井 聡子 <令和2年4月> 博士(看護学)
		地域ケアシステム論 トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 地域看護学概論※ 地域看護方法論※ 地域看護学演習 地域看護学実習 多職種連携論※ 国際看護活動論 看護学研究Ⅰ※ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※			地域ケアシステム論 トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 地域看護学概論※ 地域看護方法論※ 地域看護学演習 地域看護学実習 多職種連携論※ 国際看護活動論 看護学研究Ⅰ※ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	浦井 珠恵 <平成31年4月> 博士(保健学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 基本看護技術※ 生活援助看護技術※ フィジカルアセスメント※ 看護過程論※ 診療援助看護技術※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	鷺塚 寛子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 基本看護技術※ 生活援助看護技術※ フィジカルアセスメント※ 看護過程論※ 診療援助看護技術※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	福森 絢子 <平成31年4月> 修士(臨床心理学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 基本看護技術※ 生活援助看護技術※ フィジカルアセスメント※ 看護過程論※ 診療援助看護技術※ 看護管理学※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	山本 麻理奈 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 基本看護技術※ 生活援助看護技術※ フィジカルアセスメント※ 看護過程論※ 診療援助看護技術※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	浦井 珠恵 <平成31年4月> 博士(保健学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 基本看護技術※ 生活援助看護技術※ フィジカルアセスメント※ 看護過程論※ 診療援助看護技術※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	鷺塚 寛子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 基本看護技術※ 生活援助看護技術※ フィジカルアセスメント※ 看護過程論※ 診療援助看護技術※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	福森 絢子 <平成31年4月> 修士(臨床心理学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 基本看護技術※ 生活援助看護技術※ フィジカルアセスメント※ 看護過程論※ 診療援助看護技術※ 看護管理学※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	山本 麻理奈 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 基本看護技術※ 生活援助看護技術※ フィジカルアセスメント※ 看護過程論※ 診療援助看護技術※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	若瀬 淳子 <平成31年4月> 修士(人間学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 小児看護方法論※ 小児看護学演習 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	高木 園美 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 小児看護方法論※ 小児看護学演習 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	
専	講師	村田 美代子 <平成31年4月> 修士(医科学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 母性看護方法論※ 母性看護学演習 母性看護学実習 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	小林 絵里子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 母性看護方法論※ 母性看護学演習 母性看護学実習 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	若瀬 淳子 <平成31年4月> 修士(人間学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 小児看護方法論※ 小児看護学演習 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	高木 園美 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 小児看護方法論※ 小児看護学演習 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	寺井 孝弘 <平成31年4月> 博士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 小児看護学概論 小児看護方法論※ 小児看護学演習 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	村田 美代子 <平成31年4月> 修士(医科学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 母性看護方法論※ 母性看護学演習 母性看護学実習 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	小林 絵里子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 母性看護方法論※ 母性看護学演習 母性看護学実習 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	二本柳 圭 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 成人看護方法論Ⅰ(急性・回復)※ 成人看護学演習Ⅰ(急性・回復) 成人看護学実習Ⅰ(急性・回復) 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	寺内 英真 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 成人看護方法論Ⅰ(急性・回復)※ 成人看護学演習Ⅰ(急性・回復) 成人看護学実習Ⅰ(急性・回復) 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	若林 理恵子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 成人看護方法論Ⅲ(緩和)※ 成人看護学演習Ⅱ(慢性・緩和) 成人看護学実習Ⅱ(慢性・緩和) 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	杉山 由香里 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 精神看護方法論※ 精神看護学演習 精神看護学実習 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	青柳 寿弥 <平成31年4月> 博士(看護学)
		生活支援と情報※ トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 老年看護方法論※ 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	二本柳 圭 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 成人看護方法論Ⅰ(急性・回復)※ 成人看護学演習Ⅰ(急性・回復) 成人看護学実習Ⅰ(急性・回復) 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	寺内 英真 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 成人看護方法論Ⅰ(急性・回復)※ 成人看護学演習Ⅰ(急性・回復) 成人看護学実習Ⅰ(急性・回復) 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	若林 理恵子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 成人看護方法論Ⅲ(緩和)※ 成人看護学演習Ⅱ(慢性・緩和) 成人看護学実習Ⅱ(慢性・緩和) 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	杉山 由香里 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 精神看護方法論※ 精神看護学演習 精神看護学実習 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	青柳 寿弥 <平成31年4月> 博士(看護学)
		生活支援と情報※ トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 老年看護方法論※ 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	伊藤 裕佳 <平成31年4月> 博士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 老年看護方法論※ 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	山崎 智可 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 在宅看護方法論※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	洪谷 昭子 <平成31年4月> 博士(医学)
		地域ケアシステム論 生活支援と情報※ トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 地域看護方法論※ 地域看護学演習 地域看護学実習 多職種連携論※ 看護学研究Ⅰ※ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	朝倉 理映 <平成31年4月> 修士(看護学)
		地域ケアシステム論 トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 地域看護方法論※ 地域看護学演習 地域看護学実習 多職種連携論※ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	伊藤 裕佳 <平成31年4月> 博士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 老年看護方法論※ 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	山崎 智可 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 在宅看護方法論※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	洪谷 昭子 <平成31年4月> 博士(医学)
		地域ケアシステム論 生活支援と情報※ トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 地域看護方法論※ 地域看護学演習 地域看護学実習 多職種連携論※ 看護学研究Ⅰ※ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	講師	朝倉 理映 <平成31年4月> 博士(医学)
		地域ケアシステム論 トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 地域看護方法論※ 地域看護学演習 地域看護学実習 多職種連携論※ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	矢野 正晃 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 基本看護技術※ 生活援助看護技術※ フィジカルアセスメント※ 看護過程論※ 診療援助看護技術※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	助教	岩崎 涼子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 基本看護技術※ 生活援助看護技術※ フィジカルアセスメント※ 看護過程論※ 診療援助看護技術※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	助教	松本 美子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 小児看護学演習 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	助教	三加 るり子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 母性看護学演習 母性看護学実習 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※
専	助教	西村 香織 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 母性看護学演習 母性看護学実習 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※
専	助教	岡田 麻代 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 母性看護学演習 母性看護学実習 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	矢野 正晃 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 基本看護技術※ 生活援助看護技術※ フィジカルアセスメント※ 看護過程論※ 診療援助看護技術※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	助教	岩崎 涼子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 基本看護技術※ 生活援助看護技術※ フィジカルアセスメント※ 看護過程論※ 診療援助看護技術※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	助教	松本 美子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 小児看護学演習 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	助教	三加 るり子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 母性看護学演習 母性看護学実習 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※
専	助教	西村 香織 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 母性看護学演習 母性看護学実習 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※
専	助教	岡田 麻代 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 母性看護学演習 母性看護学実習 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	北島 友香 <平成31年4月> 修士(保健学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 母性看護学演習 母性看護学実習 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※
専	助教	竹口 将志 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 成人看護方法論Ⅰ(急性・回復)※ 成人看護学演習Ⅰ(急性・回復) 成人看護学実習Ⅰ(急性・回復) 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	助教	福村 寛子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 成人看護方法論Ⅲ(緩和)※ 成人看護学演習Ⅱ(慢性・緩和) 成人看護学実習Ⅱ(慢性・緩和) 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	助教	濱野 初恵 <平成31年4月> 修士(保健学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 成人看護方法論Ⅲ(緩和)※ 成人看護学演習Ⅱ(慢性・緩和) 成人看護学実習Ⅱ(慢性・緩和) 糖尿病看護論※ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	助教	浜多 美奈子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 精神看護学演習 精神看護学実習 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	助教	遠田 大輔 <平成31年4月> 修士(保健学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 精神看護学演習 精神看護学実習 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	北島 友香 <平成31年4月> 博士(保健学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 母性看護学演習 母性看護学実習 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※
専	助教	竹口 将志 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 成人看護方法論Ⅰ(急性・回復)※ 成人看護学演習Ⅰ(急性・回復) 成人看護学実習Ⅰ(急性・回復) 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	助教	福村 寛子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 成人看護方法論Ⅲ(緩和)※ 成人看護学演習Ⅱ(慢性・緩和) 成人看護学実習Ⅱ(慢性・緩和) 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	助教	濱野 初恵 <平成31年4月> 修士(保健学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 成人看護方法論Ⅲ(緩和)※ 成人看護学演習Ⅱ(慢性・緩和) 成人看護学実習Ⅱ(慢性・緩和) 糖尿病看護論※ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	助教	浜多 美奈子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 精神看護学演習 精神看護学実習 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	助教	遠田 大輔 <平成31年4月> 博士(保健学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 精神看護学演習 精神看護学実習 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	川口 寛介 <平成32年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 老年看護方法論※ 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	助教	米山 真理 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 老年看護方法論※ 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	助教	北林 正子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 在宅看護方法論※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	川口 寛介 <令和2年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 老年看護方法論※ 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	助教	米山 真理 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 老年看護方法論※ 老年看護学演習 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
専	助教	北林 正子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		トピックゼミⅠ トピックゼミⅡ トピックゼミⅢ トピックゼミⅣ 初期体験実習 在宅看護方法論※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 看護学研究Ⅱ 看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	川越 誠 <平成31年4月> 工学博士
		科学技術と社会
兼任	教授	川上 智規 <平成31年4月> 博士(工学)
		環境論※
兼任	教授	楠井 隆史 <平成31年4月> 工学博士
		環境論※
兼任	教授	渡辺 幸一 <平成31年4月> 博士(理学)
		環境論※
兼任	教授	原口 志津子 <平成31年4月> 博士(文学)
		芸術学Ⅰ 芸術学Ⅱ
兼任	教授	川上 崇 <平成31年4月> 工学博士
		海外留学科目(中国) 海外研修科目(米国) 海外語学研修科目
兼任	教授	石森 勇次 <平成31年4月> 工学博士
		数学
兼任	教授	福原 忠 <平成31年4月> 理学博士
		物理学
兼任	教授	中川 佳英 <平成31年4月> 文学修士
		中国語Ⅱ
兼任	教授	大島 徹 <平成32年4月> 工学博士
		看護ケアと工学※
兼任	教授	鳥山 朋二 <平成32年4月> 博士(工学)
		看護ケアと工学※ 生活支援と情報※
兼任	教授	唐山 英明 <平成32年4月> 博士(理学)
		生活支援と情報※
兼任	教授	榑 利之 <平成32年4月> 理学博士
		先端医療論※
兼任	教授	竹井 敏 <平成32年4月> 博士(工学)
		先端医療論※
兼任	准教授	平野 嘉孝 <平成31年4月> 修士(経済学)
		経済学Ⅰ 経済学Ⅱ 環境論※
兼任	准教授	大石 玄 <平成31年4月> 修士(法学)
		法学Ⅰ 法学Ⅱ 日本国憲法
兼任	准教授	呉 修一 <平成31年4月> 博士(工学)
		環境論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	川越 誠 <平成31年4月> 工学博士
		科学技術と社会
兼任	教授	川上 智規 <平成31年4月> 博士(工学)
		環境論※
兼任	講師	楠井 隆史 <平成31年4月> 工学博士
		環境論※
兼任	教授	渡辺 幸一 <平成31年4月> 博士(理学)
		環境論※
兼任	准教授	金城 朱美 <平成31年4月> 博士(文学)
		比較文化学Ⅰ 比較文化学Ⅱ
兼任	教授	石森 勇次 <平成31年4月> 工学博士
		数学
兼任	准教授	三本 啓輔 <平成31年4月> 理学博士
		物理学
兼任	教授	戸田 晃一 <平成31年4月> 理学博士
		海外留学科目(中国) 海外研修科目(米国) 海外語学研修科目 中国語Ⅱ
兼任	教授	大島 徹 <令和2年4月> 工学博士
		看護ケアと工学※
兼任	教授	鳥山 朋二 <令和2年4月> 博士(工学)
		看護ケアと工学※ 生活支援と情報※
兼任	教授	唐山 英明 <令和2年4月> 博士(理学)
		生活支援と情報※
兼任	教授	榑 利之 <令和2年4月> 理学博士
		先端医療論※
兼任	教授	竹井 敏 <令和2年4月> 博士(工学)
		先端医療論※
兼任	准教授	平野 嘉孝 <平成31年4月> 修士(経済学)
		経済学Ⅰ 経済学Ⅱ 富山と日本海
兼任	准教授	大石 玄 <平成31年4月> 修士(法学)
		法学Ⅰ 法学Ⅱ 日本国憲法
兼任	准教授	呉 修一 <平成31年4月> 博士(工学)
		環境論※



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	立田 真文 <平成31年4月> 博士(工学)
		環境論※
兼任	准教授	手計 太一 <平成31年4月> 博士(工学)
		環境論※
兼任	准教授	竹澤 みどり <平成31年4月> 博士(心理学)
		コミュニケーション論Ⅰ コミュニケーション論Ⅱ コミュニケーション演習 生涯発達心理学
兼任	准教授	川上 陽介 <平成31年4月> 博士(文学)
		文学Ⅱ
兼任	准教授	岡本 啓 <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		健康科学Ⅱ 体力科学 体力科学演習
兼任	准教授	川端 繁樹 <平成31年4月> 理学博士
		化学
兼任	准教授	鈴木 浩司 <平成31年4月> 博士(理学)
		生物学
兼任	准教授	小林 一也 <平成31年4月> 工学博士
		情報科学 情報科学演習
兼任	准教授	中島 崇 <平成31年4月> Ph.D. in Linguistics (米国)
		英語1 英語2 英語3 英語4
兼任	准教授	山崎 大介 <平成31年4月> 修士(国際文化)
		英語1 英語2 英語3 英語4
兼任	准教授	小柳 健一 <平成32年4月> 博士(工学)
		看護ケアと工学※
兼任	准教授	小山 靖人 <平成32年4月> 博士(理学)
		看護ケアと工学※
兼任	准教授	岩本 健嗣 <平成32年4月> 博士(政策・メディア)
		生活支援と情報※
兼任	准教授	伊東 聡 <平成32年4月> 博士(工学)
		先端医療論※
兼任	講師	濱 貴子 <平成31年4月> 修士(教育学)
		社会学 環境論※ コミュニケーションの社会学
兼任	講師	中村 秀規 <平成31年4月> 博士(学術)
		環境論※
兼任	講師	井戸 啓介 <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	上村 一貴 <平成31年4月> 博士 (リハビリテーション療法)
		健康科学Ⅰ 体力科学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	立田 真文 <平成31年4月> 博士(工学)
		環境論※
兼任	准教授	手計 太一 <平成31年4月> 博士(工学)
		環境論※
兼任	准教授	竹澤 みどり <平成31年4月> 博士(心理学)
		コミュニケーション論Ⅰ コミュニケーション論Ⅱ コミュニケーション演習 生涯発達心理学
兼任	准教授	川上 陽介 <平成31年4月> 博士(文学)
		文学Ⅱ
兼任	准教授	岡本 啓 <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		健康科学Ⅱ 体力科学 体力科学演習
兼任	准教授	川端 繁樹 <平成31年4月> 理学博士
		化学
兼任	准教授	鈴木 浩司 <平成31年4月> 博士(理学)
		生物学
兼任	准教授	小林 一也 <平成31年4月> 工学博士
		情報科学 情報科学演習
兼任	講師	林 智 <平成31年4月> 修士(教育学)
		英語1 英語2 英語3 英語4
兼任	講師	山崎 大介 <平成31年4月> 修士(国際文化)
		英語1 英語2 英語3 英語4
兼任	准教授	小柳 健一 <令和2年4月> 博士(工学)
		看護ケアと工学※
兼任	准教授	小山 靖人 <令和2年4月> 博士(理学)
		看護ケアと工学※
兼任	准教授	岩本 健嗣 <令和2年4月> 博士(政策・メディア)
		生活支援と情報※
兼任	准教授	伊東 聡 <令和2年4月> 博士(工学)
		先端医療論※
兼任	講師	濱 貴子 <平成31年4月> 修士(教育学)
		社会学 環境論※ コミュニケーションの社会学
兼任	講師	中村 秀規 <平成31年4月> 博士(学術)
		環境論※
兼任	講師	井戸 啓介 <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	上村 一貴 <平成31年4月> 博士 (リハビリテーション療法)
		健康科学Ⅰ 体力科学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐保 賢志 <平成32年4月> 博士(情報学)
		看護ケアと工学※
兼任	講師	寺島 修 <平成32年4月> 博士(工学)
		看護ケアと工学※
兼任	講師	森重 健一 <平成32年4月> 博士(情報工学)
		看護ケアと工学※
兼任	講師	浦島 智 <平成32年4月> 博士(工学)
		看護ケアと工学※
		生活支援と情報※
兼任	講師	千葉 元 <平成31年4月> 博士(工学)
		富山と日本海
兼任	講師	申 英蘭 <平成32年4月> 博士(文学)
		文学 I 中国語 I
兼任	講師	林 夏生 <平成31年4月> 修士(学術)
		国際関係論
兼任	講師	宮島 光志 <平成31年4月> 修士(文学)
		倫理学 哲学
兼任	講師	高越 英 <平成31年4月> 修士(文学)
		英語 1 英語 2 英語 3 英語 4 英語 5 英語 6
兼任	講師	一條 裕之 <平成31年4月> 博士(医学)
		形態機能学 I (解剖学) 形態機能学 II (生理学)
兼任	講師	森 寿 <平成31年4月> 医学博士
		形態機能学 III (生化学)
兼任	講師	近藤 隆 <平成32年4月> 博士(医学)
		生体と放射線学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐保 賢志 <令和2年4月> 博士(情報学)
		看護ケアと工学※
兼任	講師	寺島 修 <令和2年4月> 博士(工学)
		看護ケアと工学※
兼任	講師	森重 健一 <令和2年4月> 博士(情報工学)
		看護ケアと工学※
兼任	講師	浦島 智 <令和2年4月> 博士(工学)
		看護ケアと工学※
		生活支援と情報※
兼任	講師	申 英蘭 <令和2年4月> 博士(文学)
		文学 I 中国語 I
兼任	講師	林 夏生 <平成31年4月> 修士(学術)
		国際関係論
兼任	講師	宮島 光志 <平成31年4月> 修士(文学)
		倫理学 哲学
兼任	講師	高越 英 <平成31年4月> 修士(文学)
		英語 1 英語 2 英語 3 英語 4 英語 5 英語 6
兼任	講師	一條 裕之 <平成31年4月> 博士(医学)
		形態機能学 I (解剖学)※ 形態機能学 II (生理学)※
兼任	講師	中谷 壽男 <平成31年4月> 博士(医学)
		形態機能学 I (解剖学)※
兼任	講師	竹内 勇一 <平成31年4月> 博士(理学)
		形態機能学 I (解剖学)※ 形態機能学 II (生理学)※
兼任	講師	川口 将史 <平成31年4月> 博士(医学)
		形態機能学 I (解剖学)※ 形態機能学 II (生理学)※
兼任	講師	森 寿 <平成31年4月> 医学博士
		形態機能学 III (生化学)※
兼任	講師	吉田 知之 <平成31年4月> 医学博士
		形態機能学 III (生化学)※
兼任	講師	石本 哲也 <平成31年4月> 医学博士
		形態機能学 III (生化学)※
兼任	講師	井上 蘭 <平成31年4月> 医学博士
		形態機能学 III (生化学)※
兼任	講師	近藤 隆 <令和2年4月> 博士(医学)
		生体と放射線学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	井村 穰二 <平成31年4月> 博士(医学)
		病理学
兼任	講師	薄田 大輔 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(熱帯医学)
		感染と防御
兼任	講師	服部 裕一 <平成32年4月> 博士(医学)
		薬理学
兼任	講師	加治 正英 <平成32年4月> 医学博士
		成人臨床医学Ⅰ(外科系)
兼任	講師	川端 雅彦 <平成32年4月> 医学博士
		成人臨床医学Ⅱ(内科系)
兼任	講師	大蔵 暢 <平成32年4月> 学士(医学) 修士(公衆衛生学)
		老年臨床医学※
兼任	講師	保住 功 <平成32年4月> 医学博士
		老年臨床医学※
兼任	講師	畑崎 喜芳 <平成32年4月> 医学士
		小児臨床医学
兼任	講師	舟本 寛 <平成32年4月> 医学博士
		母性臨床医学
兼任	講師	藤井 勉 <平成32年4月> 医学士
		精神臨床医学
兼任	講師	長田 拓哉 <平成32年4月> 博士(医学)
		栄養学
兼任	講師	垣内 孝子 <平成32年4月> 医学博士
		保健医療福祉行政論 公衆衛生学
兼任	講師	臼田 和生 <平成32年4月> 医学博士
		先端医療論※
兼任	講師	川岸 孝美 <平成32年4月> 学士(看護学)
		先端医療論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	井村 穰二 <平成31年4月> 博士(医学)
		病理学※
兼任	講師	中嶋 隆彦 <平成31年4月> 博士(医学)
		病理学※
兼任	講師	野口 英 <平成31年4月> 博士(医学)
		病理学※
兼任	講師	南坂 尚 <平成31年4月> 学士(医学)
		病理学※
兼任	講師	田中 真一 <平成31年5月> 学士(医学)
		病理学※
兼任	講師	高木 康司 <平成31年5月> 修士(薬学)
		病理学※
兼任	講師	薄田 大輔 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(熱帯医学)
		感染と防御
兼任	講師	服部 裕一 <令和2年4月> 博士(医学)
		薬理学
兼任	講師	加治 正英 <令和2年4月> 医学博士
		成人臨床医学Ⅰ(外科系)
兼任	講師	川端 雅彦 <令和2年4月> 医学博士
		成人臨床医学Ⅱ(内科系)
兼任	講師	大蔵 暢 <令和2年4月> 学士(医学) 修士(公衆衛生学)
		老年臨床医学※
兼任	講師	保住 功 <令和2年4月> 医学博士
		老年臨床医学※
兼任	講師	畑崎 喜芳 <令和2年4月> 医学士
		小児臨床医学
兼任	講師	舟本 寛 <令和2年4月> 医学博士
		母性臨床医学
兼任	講師	藤井 勉 <令和2年4月> 医学士
		精神臨床医学
兼任	講師	長田 拓哉 <令和2年4月> 博士(医学)
		栄養学
兼任	講師	垣内 孝子 <令和2年4月> 医学博士
		保健医療福祉行政論 公衆衛生学
兼任	講師	臼田 和生 <令和2年4月> 医学博士
		先端医療論※
兼任	講師	川岸 孝美 <令和2年4月> 学士(看護学)
		先端医療論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	清水 康一 <平成32年4月> 医学博士	兼任	講師	清水 康一 <令和2年4月> 医学博士
		先端医療論※			先端医療論※
兼任	講師	惣万 佳代子 <平成32年4月> 専門学校卒	兼任	講師	惣万 佳代子 <令和2年4月> 専門学校卒
		地域看護学概論※			地域看護学概論※
兼任	講師	松田 昌夫 <平成34年4月> 博士(医学)	兼任	講師	松田 昌夫 <令和4年4月> 博士(医学)
		認知症看護論※			認知症看護論※
兼任	講師	Yves Gineste <平成31年4月> 学士(体育学)	兼任	講師	Yves Gineste <平成31年4月> 学士(体育学)
		看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※			看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
兼任	講師	本田 美和子 <平成31年4月> 学士(医学)	兼任	講師	本田 美和子 <平成31年4月> 学士(医学)
		看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※			看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
兼任	講師	林 浩靖 <平成33年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	林 浩靖 <平成31年4月> 修士(看護学)
		看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※ 認知症看護論※			看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※ 認知症看護論※
兼任	講師	荒木 真梨子 <平成33年4月> 学士(看護学)	兼任	講師	荒木 真梨子 <平成31年4月> 学士(看護学)
		看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※			看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
兼任	講師	高柳 佳忠 <平成33年4月> 専門学校卒	兼任	講師	高柳 佳忠 <平成31年4月> 専門学校卒
		看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※			看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
兼任	講師	竹内 雅代 <平成33年4月> 専門学校卒	兼任	講師	竹内 雅代 <平成31年4月> 専門学校卒
		看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※			看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
兼任	講師	橋本 佳子 <平成33年4月> 専門学校卒	兼任	講師	橋本 佳子 <平成31年4月> 専門学校卒
		看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※			看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
兼任	講師	畑 真夕美 <平成33年4月> 学士(看護学)(教養)	兼任	講師	畑 真夕美 <平成31年4月> 学士(看護学)(教養)
		看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※			看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※
兼任	講師	向井 紀子 <平成33年4月> 専門学校卒	兼任	講師	向井 紀子 <平成31年4月> 専門学校卒
		看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※			看護ケアとユマニチュードⅠ※ 看護ケアとユマニチュードⅡ※ 看護ケアとユマニチュードⅢ※ 看護ケアとユマニチュードⅣ※

- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

**【令和元年度】**

- ・ 認可時の附帯事項であった15授業科目の専任教員の配置について、平成31年4月寺井講師就任。(平成30年12月AC教員審査済)
- ・ 「芸術学」の兼任教員の退職により、「比較文化学」を新設し、担当兼任教員として金城准教授就任。
- ・ 「科学技術と社会」「環境論」について、兼任教員の退職により、兼任教員(非常勤講師)に変更。
- ・ 「海外語学研修科目」「物理学」「中国語Ⅱ」「英語1～4」「富山と日本海」等について、担当の兼任教員を変更。
- ・ 「形態機能学Ⅰ～Ⅲ」「看護ケアとユマニチュードⅠⅡ」について、兼任教員を追加。

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。



(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
13 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
7	9	17	15	48	7	6	18	14	45
[ 7 ]	[ 6 ]	[ 18 ]	[ 14 ]	[ 45 ]					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(C)	教授	准教授	講師	助教	計(D)
7	9	18	15	49	7	9	18	15	49
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	1 名	2 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{49}{48} = \boxed{102.08} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{45} = \boxed{2.22} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由 ※該当なし

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由
	計	科目	計	科目	計	科目	計

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由
	計	科目	計	科目	計	科目	計

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）		後任補充状況の集計（E）+（G）		
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
人	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合計				後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 ※該当なし

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。



6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
<p>認可時  (平成30年)</p>	<p>「コミュニケーションの社会学」について、授業の内容から科目区分を「精神・身体」に区分することは理解できるものの、科目名称に社会学を冠する考え方が授業科目の概要には記載されておらず、また、科目名称に社会学を冠する際には、社会システムや社会構造に関する内容を踏まえた授業内容とする必要があると考えられるが、これらの内容も授業科目の概要には記載されていないことから、科目名称と授業内容の整合性が不明確なため、学生にわかりやすくする観点から、科目区分、科目名称、科目内容の整合を図り、必要に応じて適切に改めること。</p>	<p>遵守事項</p> <p>本科目は、認識や感情などの人間の心理的な側面を他者とのコミュニケーションとの関係から考える授業であることから、「精神・身体」の科目に区分している。 また、社会システムや社会構造は人々のコミュニケーションに影響を及ぼし、さらにそうした社会の力に影響を受けた人々のコミュニケーションによって人間の心理的な側面が形作られていくことを考える授業内容とするため、科目の名称に「社会学」を冠している。 以上の科目名称と授業内容の整合性を学生に分かりやすく伝えるため、シラバスの項目「授業の目標」の欄に、本科目が社会システムや社会構造に関する内容であることを記載し、加えて第1回目のガイダンスにおいても平易な言葉で社会システムや社会構造が人と人とのコミュニケーションや人間の心に影響を及ぼすことを説明した。</p> <p>履行済</p>	
<p>認可時  (平成30年)</p>	<p>工学部との連携について、「看護ケアとユマニチュードⅠ～Ⅳ」、「トピックゼミⅢ～Ⅳ」及び「看護学研究Ⅱ」を通じて連携するとあるが、具体的な連携状況や工学部教員のうち、誰が行うのかといった具体的な参画状況が不明確であるため、これらの連携が看護教育にどのように効果的に反映されるのかの観点も踏まえて明確にし、これらの科目の授業内容の概要やシラバスに工学部との連携内容について記述すること。</p>	<p>遵守事項</p> <p>○1年次開講科目である「看護ケアとユマニチュードⅠ」の科目概要とシラバスに、次のように加筆した。 【科目概要】 ・学生がユマニチュード技法を用いた実践（見る；アイコンタクト）をしている場面をビデオカメラに収録し、見る技の現状分析を工学部教員ら（情報工学科：唐山教授他）と共同で行う。その結果を学生にフィードバックし、技術の改善やケアの効果に役立てる。 【シラバス】 学生の到達目標7. ケアの実践状況の映像を見ながら、自分の技術（見る；アイコンタクト）を振り返り、ケアの改善に役立てることができる。 授業計画第3回目と第7回目 *見る：工学部教員によるビデオ撮影（カメラ付き眼鏡）に基づく自分の技術の振り返り。 ○2年次以降に開講する「看護ケアとユマニチュードⅡ～Ⅳ」の科目概要には、次のことを追記した。 ・「看護ケアとユマニチュードⅡ」では、ビデオ映像を用いて「立つ」技術の現状分析を、「看護ケアとユマニチュードⅢ」では、「清潔」に関する技術の現状分析を行う。「看護ケアとユマニチュードⅣ」では、今まで実施してきたビデオ映像分析のまとめを情報工学科の唐山教授らと共同で行い、技術の要点を明らかにする。 ○「トピックゼミⅢ～Ⅳ」は2年次開講科目、「看護学研究Ⅱ」は4年次開講科目である。これらの科目概要には、次のことを追記した。2年次に開講している「安全と快適を支援する看護学・工学連携」の必修3科目を学修した学生が、安全・快適を支援するための研究課題に関心を持ち、その課題探究を目指す場合には、看護学の教員に加えて「看護学・工学連携科目」を担当した教員（知能ロボット工学科、情報工学科他）からも指導を受けることができる。</p> <p>履行済</p>	

<p>認可時 (平成30年)</p>	<p>教員の補充を必要とされた15授業科目については、開設時までには、確実に専任教員を配置して教員を充足すること。</p>	<p>遵守事項</p>	<p>15授業科目を担当する小児看護学の専任教員（講師（平成30年度AC教員審査済み））を新たに平成31年4月から配置した。</p>	<p>履行済</p>	
------------------------	---------------------------------------------------------------	-------------	--------------------------------------------------------------------	------------	--

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等 ※該当なし

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 看護学部教務委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 該当なし</p> <p>c 委員会の審議事項等 該当なし</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 該当なし</p> <p>b 実施方法 該当なし</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 該当なし</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 該当なし</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 該当なし</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 該当なし</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

該当なし

- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

- c 委員会の審議事項等

該当なし

- d その他

該当なし

② 審議状況

- a 審議した内容

該当なし

- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
平成31年4月1日設置のため未評価
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
・令和元年7月31日 公表
b 公表方法
・大学ホームページ上に公開予定（令和元年7月31日を予定）
③ 認証評価を受ける計画
・平成28年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受審した。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）	
a ホームページへの公表予定の有無	( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )
b 公表有の場合の公表（予定）時期	( 令和元年5月31日 )
b 公表無の場合の特段の理由	( )

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。